

第3回茨木市病院誘致あり方検討委員会 委員意見

(1) 茨木市誘致病院に係る基本整備構想（案）

| 項目 | 委員意見 | 対応 |
|----------------------------|--|--------------|
| 基本理念・整備方針について | <ul style="list-style-type: none"> 過去に流行った新型インフルエンザがもう一度パンデミックになった時には再興感染症となり、「新興流行感染症」という言葉は「新興・再興感染症」とした方がよいのではないか。 | 基本整備構想36pに反映 |
| 必要な医療機能（5疾病4事業等への対応）について | <p>【脳血管疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定の脳神経外科の手術ができる医師を集めるのは難しく、どの程度の規模を想定しているかは病院の経営にも関連する。 <p>【災害時医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時医療としてどこまでの役割を求めているのか。事業者と住民の間では齟齬が生じやすい部分である。 二次レベルの患者については、積極的に受け入れていただける病院がありがたい。災害拠点病院までの繋ぎや転院、圏域外搬送も担えるような機能も持ってもらえれば有事の際にありがたい。 <p>【小児医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当直体制を維持するにはかなりたくさん的人数が必要になり、診療科として継続できるようニーズと現実の医療提供体制のバランスを大事に考えながら進める必要がある。 採算を維持するのは簡単ではなく、公的な補助等も考えていただきたい。 | |
| 必要な医療機能（5疾病4事業等以外への対応）について | <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携に重きを置き、地域連携室が機能的に動けるような病院がありがたい。 医科連携だけでなく、薬薬連携、医科歯科連携なども常に認識していただきたい。 医科歯科連携については、周術期管理や訪問診療などでの連携を重視していただきたい。 積極的に地域の薬局に声をかけて、門戸を開放してくれる病院であってほしい。地域の薬局からの一方通行にならないよう、情報を積極的に受け入れ、それに対する反応をしていただきたい。 医師不足・看護師不足が起きた場合に、速やかに補充できるような体制が取れることも必要ではないか。 | |

| | | |
|-------------|---|--|
| <p>建築計画</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 候補地は 50 cmから 3m ほどの浸水の可能性があり、地下利用については留意が必要だが、一方で高層化すると地震時のリスクが高まり、水や電源が途絶した場合を考えると望ましくない面もある。特定のリスクだけに引っ張られるのではなく、バランスをとっていくことが必要である。 ・ 市の中心に大規模な建物を整備するとなると、従来の都市計画マスタープランや立地適正化計画と幾分のずれが生じるが、どのような将来像を目指していくのか。周辺の医療環境にも影響を与えるため、地域の高齢者や子育て世代の暮らし方にどのような影響が波及していくのか、副作用が及んでしまわないかも総合的に考えていく必要がある。 ・ 候補地の駐輪場は多くの市民が利用しており、市民が困らないよう、代替の駐輪場を確保する必要がある。 ・ 駐輪場との合築になる場合は、病院の必要な機能が十全に発揮されるようにしていただきたい。 ・ 病院のあり方の議論ではあるが、それに留まらず、都市計画や様々な部署とも相乗効果を生むような連携を取り、幅広く検討していただきたい。 | |
|-------------|---|--|